

科学者京都会議 事務局会議

'64, 7, 15 名大物理会議室

湯川, 坂田, 武谷

高木, 藤本, 山田, 牧, 小此木, 安野

1° 敵山継続委員会での議題

"Pugwash 会議 批判"

- 4.7
- a) もとの精神に反し、
Einstein principle は良いが、事実において米・ソの
国家的利益に偏している。
 - b) 戦争の本質を明かにする。
南アトム問題 - Pugwash とは限界はあるだろうが、
 - c) technical な議論に終始している。そのような議論が
意義をもちた段階は過ぎた。
 - d) 素人の良さを認識し、玄人主義をやめろ。
— これは京都会議にも関連する。
 - e) "中国に対する channel" とは役割が主な仕事
になり始めるのではない。
— 現在では会議のもち方の段階でまだに中口
を off limit にしている。
— 中口が加わった形での Pugwash を具体的な
形で考えて見ろ。(南極地、アーマ etc.)
 - f) やらねばならぬことが落ちてくる。しかもそれで済んでいる。

- 以上、かなり長文の英文論文を作る。
- 継続委の名前で署名を集める。— 主として論文作成者とする。
- Pugwash 会議事務局に送る。

Comment. Appendix で「インド」会議の具体的な批判をやる。用意
されている反論に対する再反論をも書いておく。

c092-013-002

2° 科学者の組織について

原子科学者会議 工作準備中。

- 理学部
- 原子力関係
- 試験研究機関
- 医界
- etc.

"Council of Atomic Scientists" of Japan

- 規約草案 作成責任 : 藤本, 山田, 小川
- 10月名古屋学会で 趣意書 を配布する。
科学者憲章の前文を骨子とし
原子力3原則, 研究基本法 etc.
を入れる。
- News を発行する。
- 会費をとる。
- 来春に總會を開設。